harmony

― 岩手県立中部病院　地域連携便り　VOl．6 ―

― ご あ い さ つ ―

院　長　　北村（きたむら）　道彦（みちひこ）

オリンピックで寝不足気味です。今回は、チームワークと集中力を特に感じた清々しい大会でした。震災からの復興や連帯感がベースに流れていたのではないかと考えています。

ここに、「harmony」６号をお届けします。

今回は、８月１日に開催された、がん診療医科歯科連携のキックオフミーティングの記事がトップです。お忙しい中、遠方からも含め沢山の方にお集まりいただき、本当に有り難うございました。医科歯科連携は、開院時から大きなテーマでした。NST 回診として歯科連携はスタートし、昨年度から緩和ケア病棟と血液内科病棟の回診が開始になり、今年は消化器手術前の歯科受診に着手いたしました。口腔機能維持は、心疾患、呼吸器疾患、糖尿病、周産期など多くの疾患と強い関連があり、最近は緩和ケアの領域でも注目されています。歯科を標榜していない当院にとって連携は命です。地域の歯科の先生、どうぞよろしくお願いします。

その他の記事としては、放射線科の治療・診断分野の紹介、新任医師紹介、針刺し事故に対する対応、研修会のお知らせ、最後に第１回の地域医療研究会のご案内と、盛り沢山の内容です。

連携、役割分担を軸に、地域全体でアウトカムを共有する事、保健、医療、福祉をひとつながりと考える『シームレス医療』を展開する事は、開院以来の大きなテーマです。「harmony」が当院と皆様を結ぶ架け橋になる事を願っております。

お盆を過ぎて、朝晩涼しくなりました。お身体を大切になさって下さい。

そ～らぁ通信 mini

『そ～らぁ通信』は「太陽」・「エコ」・「青空」、そして「元気の良い掛け声」と、たくさんの意味がこめられた院長通信の名前です。

北村院長は山歩きが大好き。このコーナーでは、北村院長が山で出逢った花々を紹介します。

オサバグサ

「初めて出会った時の感激は今も心に残っています」　今回の花はオサバグサです。葉の形がシダ類のようで、機織の筬(おさ)に似ていることからこの名がついたとされています。日本特産で本州の中部地方、東北地方に分布し、亜高山帯針葉樹林の林床、林縁にまれに生育すると紹介されています。この写真は、平成 22 年６月に薬師岳で撮影しました。清楚で可憐な大好きな花です。薬師岳は早池峰山に対峙しており、知名度は劣りますが素晴らしい山です。

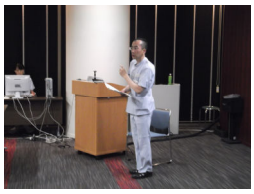
がん診療医科歯科連携始動!!

地域医療福祉連携室

キックオフミーティングを開催しました

８月１日中部圏域がん診療医科歯科連携キックオフミーティングを開催いたしました。

当日は、岩手県歯科医師会口腔保健センター運営委員の高橋綾先生に、がん診療における医科歯科連携の必要性について解説いただき、地域の歯科医院の先生がた・スタッフをはじめ院内外 100 名を越える多数の参加者による、活発な質疑応答や意見交換がおこなわれました。



当院では地域の歯科医師会の協力をいただき、平成 22 年から隔週で入院患者のＮＳＴ歯科回診、昨年からは入院中のがん患者の重点的な歯科回診、口腔ケアを開始しました。

今年 ４ 月の診療報酬改定で、がんの医科歯科連携に点数がつき、県歯科医師会による「がん診療医科歯科連携協議会」が立ち上ったことを機に当院としても“手術、放射線、化学療法などの治療が始まる前に歯科受診をしていただき、治療中、治療後もひきつづき、歯科診療と口腔ケアを行っていく”という「がん診療医科歯科連携」について地域の歯科医師会と準備を進め、８月より運用を開始しました。

まずは、消化器内科を受診し手術適応となったかたを対象に運用し、順次、各科で手術適応もしくは放射線治療・化学療法適応となったかたへと運用を広める計画です。

がんに関する連携から始めてはいきますが、当然ながら医科歯科連携はがん治療に留まるものではなく、また中部病院と歯科医師会だけの関係が密接になればいいというものでもありません。今後、医師会の先生がたや地域の医療機関の協力のもと、地域全体の医科歯科連携が今まで以上に順調に進んでいくように当院も取り組んでいきたいと考えていますので、よろしくお願い申し上げます。

＝放射線治療・核医学分野での取り組み＝

《6回シリーズ第3回》PET／CT

放射線治療科長　小原　東也 おばら とうや

悪性腫瘍のステージングや再発診断などに威力を発揮する有力な診断モダリティとして各臨床科の先生方から待望の久しかったPET／CT診断装置も、^{18}F－FDG の「デリバリー方式」の登場にも恵まれて、平成21年春の中部病院開院から導入されることとなりました。

当院では、日本核医学会の核医学専門医・PET核医学認定医の資格取得者が常勤医として在籍し、PETの読影レポートの作成を行なっています。放射線治療業務等と兼務でこなしているため、検査の実施から結果のレポートをお返しできるまでに長くて1週間程度お待ちいただく場合がありますがご了承ください（結果をお急ぎでご希望の場合は、なるべく早めの対応とするようにしますので地域連携室までご連絡ください：ただし、当日中という対応は難しい場合が多く、また他業務との兼ね合いや出張での不在などと重なる場合、ご要望にお応えできないこともございます）。

以前は保険適応が非常に限られていましたが、臨床での有用性が評価されるに伴って適応も徐々に拡大し、現在では悪性腫瘍の精査に関しては原則として保険適用が認められるようになってきています。ただし、適応には条件があり、保険外の取り扱いとなる場合もありますので、ご依頼の際には必ずご確認いただきますようお願い致します（判断に迷う場合は当院地域連携室までお問い合わせください）。一方、いわゆる「がん検診」として一般の方々の関心もいただいているPET検診にも対応しております。

（次号は「^{131}I 内服による甲状腺癌の治療」の紹介です）

新任医師紹介

平成 24 年 7 月 1 日に着任した医師です。どうぞよろしくお願いします。

氏　名	工藤　信（ くどう しん ）		
診療科・役名	形成外科・科長	出身大学（卒年）	岩手医科大学（平成 11 年卒）
所属学会	日本形成外科学会（専門医）		
ひとこと	平成 21 年 4 月～22 年 9 月まで中部病院に勤務しておりましたが、また戻って参りました。地域の患者様のため、頑張りますのでよろしくお願い致します。		

＝＝退任医師＝＝　形成外科・科長　安岡智之　（6月30日付）

針刺し事故に対する当院としての対応

副院長兼総合診療科長兼感染管理室長　田畑（たばた）　潔（きよし）

日ごろより当院診療にご理解いただきありがとうございます。

さて、最近当院外の医療機関・施設より、職員が針刺し事故を起こした場合の問い合わせ、また実際の当院への受診例が数件ございましたので、当院内での針刺し事故の扱いと当院への受診窓口についてお知らせいたします。

針刺し事故の場合、現在では HIV の予防が重視されます。その場合は事故後 2 時間以内の抗 HIV 薬の内服が有効であり当院に予防薬は常備しております。必要であれば直ちに受診をお願いいたします。その場合原則として“救急総合診療科 田畑”あての紹介となりますが、夜間・時間外では救急外来が窓口となりますのでよろしくお願い申し上げます。また妊娠の否定が必要ですので妊娠反応検査を行います。副作用として消化器症状（悪心、下痢）が強く出ることがありますのでご留意下さい。

事故後は直ちに流水による暴露部位の洗浄を行います。血液の搾り出しは必ずしも有効ではなく、むしろ良くなかった例の報告もあり、当院では推奨しておりません。

針刺し事故の場合の採血検査ですが、事故後本人、患者様双方より、肝機能（AST,ALT）、感染症検査（梅毒 TP、HBｓ抗原、HCV 抗体、HIV Ag/Ab）を採血します。この際 HIV 採血には文章による患者様の同意が必要です。

その後の経過観察は針を刺した本人のみ 1 ヵ月後、3 ヵ月後、6 ヵ月後に同様の採血を行っています。

なお労災認定については当院で行うわけではありませんので、必ずしもすべての検査項目及び、診療行為について適応されるものではないと思われます。当院の基本姿勢は事故を起こした当該職員を守ることに重点を置いておりますので、各病院・医院の負担となる部分もあることをお断りしておきます。

当院では HIV も院内検査で可能であり充分間に合うのですが、HIV 感染予防のためには 2 時間以内の抗 HIV 薬の投与が望まれます。ウィンドウピリオドの問題もありますので、不安でしたら当人のご希望で予防内服も可能です。

○血液・体液暴露による感染リスク：

B 型肝炎＝6～40％　C 型肝炎＝0～7％

HIV=0.3%

（NIOH ホームページより）

○日本での事例：

1993 年より 7 年間で労災認定された HCV 感染医療従事者＝

医師 39 名、看護師 307 名、臨床検査技師 9 名、その他 22 名

目から感染した医師の HCV の母子感染例あり

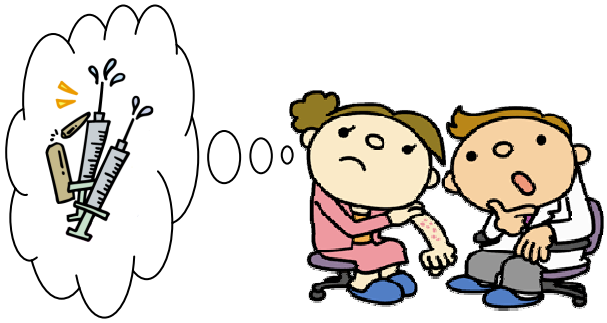
HIV 針による清掃員死亡例あり

以上参考にしていただければ幸いですが、スタッフ一人一人大切な身体です、事故は起こさないよう対策を進めましょう。

【お問い合わせ先】中部病院

室長 感染管理医師　田畑 潔(たばたきよし)

感染管理認定看護師　小石 明子(こいしあきこ)



研修会のお知らせ

当院では、様々な研修会を企画しており、随時みなさまにご案内いたします。
申込は不要です。多数の参加をお待ちしております。

〇開催場所：中部病院2階講堂　〇開催時間：18～19 時（全日程とも）

研修名	研　修　内　容	月　日	講　　師
皮膚創傷管理	②被覆材と軟膏の選択方法について	9/5(水)	皮膚・排泄ケア認定看護師 石亀　桂子
	③瘻孔管理について	12/5(水)	
摂食・嚥下障害看護	食事介助の基本についての講義・実技	11/7（水）	摂食嚥下障害看護認定看護師 小笠原　千恵
がん看護・緩和ケア	②症状マネージメント「呼吸器症状」	9/4（火）	緩和ケア認定看護師 畑山　賢
	③緩和ケア『心のケア」	11/6（火）	緩和ケア認定看護師 伊藤　ゆかり
	④症状マネージメント「消化器症状」	11/27（火）	緩和ケア認定看護師 畑山　賢
がん化学療法看護	②がん化学療法の副作用対策の基本	10/2(火)	がん化学療法看護認定看護師 高橋　文子
がん看護リンパ浮腫ケア	②リンパ浮腫ケアの実際	10/23(火)	リンパドレナージセラピスト 八重樫　郁　・　菊地　知
退院支援研修会	医療介護福祉関連職種交流会	9/10（月）	退院支援看護師　八重樫　郁　他

平成 24 年度

第1回地域医療研究会

各医療機関の皆様におかれましては、お忙しい中連携室に関するアンケートに、ご協力いただきましてありがとうございました。この結果については本研究会にてご報告いたします（参加申込は不要です）。

【 開催日時・会場 】
平成２４年８月 28 日（火）18～20 時 ２階講堂

【特別講演】
「地域包括ケアと医療連携」
放送大学教養学部 教授
順天堂大学　客員教授　　田城 孝雄 先生

地域医療福祉連携室からのお願い

◇当院は予約制です◇基本的に外来診療（小児科を除く）は予約制とさせていただいております。患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともありますので、お手数をおかけしますが、緊急の方以外はＦＡＸで事前予約のお申込をいただくようご協力をお願いいたします。

岩手県立中部病院　地域医療福祉連携室
〒024 - 8507　岩手県北上市村崎野 17 番 10 号
ＴＥＬ 0197 - 71 - 1511 ＦＡＸ0197 - 71 - 1881（地域連携室専用）
ＵＲＬ　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｃｈｕｂｕ－ｈｐ．ｃｏｍ／

（平成２４年８月）

復興と再生へ ~Together As ONE~ 岩手県立病院 WAKAKUSA Ribbon project